

1 進捗に関する成果

重点課題	施策の方向	H27主な取組実績	H27主な取組の成果	指標項目		策定時 (H22)	H26	H27	目標値 (H28)	
重点課題1 男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進	(1) 学校、家庭、地域の連携による教育・学習機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 男女平等の理解を深める道徳教育の実施 職業体験等を通じた教育の充実 家庭教育学級の開設による学習会実施 	児童生徒に対し教育課程に則り計画的に実践した。保護者に対しては、今後とも機会をとらえて適切な啓発に努める。 【学校教育課】 家庭教育学級の開設に向けて理解が深まった。今後も各学校等への指導・助言に努め、事業の充実を図る。 【生涯学習課】	1	中学校の生徒会における女性割合	会長	9.5%	30.0%	35.0%	—
	(2) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発と表現への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座における学習の実施 男女共創セミナー(父母セミナー)の開催 男女共同参画週間事業の実施及びPR 	「男女共同参画」についての出前講座メニューを設定したことで、市民の関心を引き、出前講座の実施に繋がった。 【生涯学習課】 石巻市PTA協議会と連携し、セミナーを開催したことで意識の啓発が図られた。 【地域協働課】			役員	52.1%	55.9%	51.7%	—
	(3) 男女平等の視点に立った性に関する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 性の全体指導計画に沿った指導を継続実施 高校生のための人権教室(桜坂高校) スクールカウンセラーによる相談の実施 	各学校において、性に関する全体指導計画に基づいた教育計画、年間指導計画に則った適切な実践が図られた。 【学校教育課】 桜坂高校の全校生徒を対象に性教育講座を実施し、思春期における心の教育に繋がった。 【地域協働課】	2	市が開催する男女共同参画関連イベント・セミナーの参加者及び男性の参加割合	参加者数	416人	867人	2,747人	—
	(4) 男女の生涯にわたる心の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談や訪問指導、個人面談等の実施 健康教室やがん予防研修会の実施 	石巻市健康増進計画に基づいた事業を行い、市民の健康づくりの支援や生活習慣病の予防に努めた。また、妊婦健診や訪問指導を実施し、妊産婦の健康保持の増進を図り、安心な出産や子育てを支援した。 【健康推進課】			割合	14.4%	5.8%	32.3%	—
	(5) 市職員・教員への意識啓発の強化	<ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者を対象に人権研修会を実施 市職員を対象に意識啓発研修を実施 男女共同参画便り「ともに」を発行 	人権教育講演会は、人権擁護委員協議会と連携し啓発の強化が図られた。 【総務課・学校教育課】 市職員を対象に「イクメン講習会」や女性の力を仕事に活かすための研修会を実施し、職員個々の意識改革に繋げることができた。 【地域協働課】	3	男女共同参画に関する出前講座の利用回数		0回	1回	1回	—
重点課題2 政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進	<ul style="list-style-type: none"> 女性人材リストの活用促進 審議会等への女性登用の促進 	女性人材リストを整備するとともに、各課に対しリストの活用を呼びかけ、各審議会等へ女性委員の確保に努めた。 【地域協働課】	1	審議会・委員会等への女性委員の登用率		24.6%	25.5%	25.5%	40.0%
	(2) 市及び市の関係団体等における女性の参画促進	<ul style="list-style-type: none"> 審議会等へ女性委員登用の配慮を依頼 女性人材リストの活用について各課へ依頼 	管理職等に際しては、性別にとらわれることなく職員の適性を見極め登用している。また、平成28年4月1日から施行する、石巻市特定事業主行動計画(女性活躍の推進)により、目標値を定め推進していく。【人事課】	2	女性人材リスト登載者数		94人	125人	137人	150人
	(3) 女性人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 女性人材育成セミナーの実施 女子力アップ促進事業の実施 女性起業家セミナーへの事業協力 市町村アカデミーへ市女性職員を派遣 	女性を対象とした各セミナーにおいては、講師の指導のもと女性のスキル向上を図り、女性人材の育成に努めた結果、新規登録者が増加した。 【地域協働課】 女性職員の能力を活かせる環境づくりに積極的に努めた。 【人事課】	4	市の管理職における女性の割合	総数	6.3%	8.7%	9.4%	—
						うち一般職	1.3%	6.1%	6.0%	—
重点課題3 地域における男女共同参画の推進	(1) 男女共同参画による地域活性化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等役員に占める女性割合調査の実施 女性のための防災リーダー養成講座の実施 「男女共創セミナー」の開催 	男女共創セミナーを開催し、男女がともに地域活動へ積極的に参画するよう啓発した。また、「女性のための防災リーダー養成講座」をNPO団体と実施し、地域における女性の社会参画促進に繋がった。 【地域協働課】	1	子育て支援センターの数		5箇所	6箇所	10箇所	7箇所
	(2) 男女共同参画に関する市民活動への支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 「石巻市NPO連絡会議」の設立支援 「女の井戸端会議Ⅳ」の開催協力 	市内で活動するNPOやボランティア団体の活動の活性化を図るために設立された「石巻市NPO連絡会議」を支援し、復興まちづくりを担う女性や若者の人材育成が図られた。 【地域協働課】	2	PTAの会長及び役員における女性の割合	会長	4.7%	17.5%	16.4%	—
	(3) 国際交流・協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「じゃばNeeds塾」の開催 多文化共生ワークショップ in 石巻の開催 慶長遣欧使節出帆400年記念事業「イタリア祭」事業協力 「海外姉妹都市・友好都市との交流事業記録写真展」の開催 	多文化共生推進事業の充実に関する取り組みを重点的に行い、国籍を問わず参加者同士の交流を深められた。また、写真展を実施したことで市民へ交流の様子を周知することができた。 【地域振興課】			副会長	33.5%	39.9%	44.0%	—
				役員	51.7%	59.7%	59.1%	—		
				3	自治会等役員に占める女性の割合	役員	15.8%	19.6%	19.4%	20%以上

重点課題	施策の方向	H27年度 主な取組実績	H27年度 取組成果	指標項目		策定時 (H22)	H26	H27	目標値 (H28)	
重点課題4 働く場における男女共同参画の推進	(1) 働く場における男女共同参画の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と介護の両立セミナーの実施 ワーク石巻の「マザーズコーナー」周知 「ワーク・ライフ・バランス」アンケート調査の実施 	「介護離職を防ぐために企業・管理職ができること」をテーマとした、セミナーを県と共催し、事業主に対し啓発が図られた。【地域協働課】マザーズコーナーを市報に掲載したことで、働くことを希望する女性の相談窓口について周知が図られた。【商工課】	1	家族経営協定締結農家数	3戸	4戸	6戸	10戸以上	
	(2) 働く女性の能力の向上と就業支援	<ul style="list-style-type: none"> 創業希望者向けの知識習得セミナーの開催 女性起業家を目指すセミナーの事業協力 女子力アップ促進事業の実施 	地域における創業者の支援を行い、開業率の向上による本市産業の活性化及び雇用の確保に結びつく取り組みを行った。また、女性起業家の割合が増加傾向であり、性別を問わず創業の機運が高まっていると伺える。【産業推進課】	2	保育士、看護師における男性の割合	保育士	1.0%	1.7%	1.1%	—
	(3) 企業における女性の登用促進及び人材活用に向けた取組推進	<ul style="list-style-type: none"> 女子力アップ促進事業（地域女性活躍推進事業補助金を活用）の実施 女性起業家を目指すセミナーの事業協力 	石巻商工会議所等の経済団体や地元企業（水産加工業協同組合、農業協同組合、公共職業安定所、石巻信用金庫）と連携し、女性を対象とした講座を2回開催したことで、女性の意識向上及び職業上のスキルアップに繋がった。【地域協働課】			看護師	8.6%	10.4%	10.7%	—
3				自分の職場が、仕事と家庭を両立するのに働きやすい職場だと思っている人の割合	85.0%	82.8%	85.5%	—		
重点課題5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援	(1) 男女間におけるあらゆる暴力の根絶	<ul style="list-style-type: none"> DV相談窓口PRカードの広報・配布 被災地におけるDV予防啓発講座の実施 思春期の子どもに対する接し方講座の実施 	県との共催事業「DV予防啓発講座」では、民生委員や地域福祉コーディネーター等が参加し、DVの未然防止や被害者支援について啓発できた。【地域協働課】思春期の特性を理解し、悩みや相談への対応を学ぶことで、受講者の子どもに対する暴力・虐待予防の意識啓発が図られた。【子育て支援課】	1	DVの内容について正しく理解している人の割合	91.8% (知っている+よく知っている)	97.8% (5選択肢中ひとつでも知っている)	97.6% (5選択肢中ひとつでも知っている)	—	
	(2) 暴力被害者に対する支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 「女性のための面接相談」へ事業協力 被災女性支援相談員等研修会の開催 関係機関とのネットワークの充実 被害者の緊急避難先に市営住宅の入居許可 	DVやストーカー被害者の拡大防止や自立支援、及びDV・虐待被害者救済のための相談体制の充実を図り、関係機関との連携を強化した。また、安全確保を優先し、継続支援を行うため、定期的に関係機関による検討会議を開催し、支援拡充を行った。【虐待防止センター】	2	セクハラまたはDV被害に遭ったときの相談窓口を知っている人の割合	52.4%	58.1%	63.1%	—	
	(3) あらゆる場でのセク・ハラをなくすための取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメント相談体制の整備 	ハラスメントで悩んでいる職員のための相談体制を整え、防止や解決に取り組んだ。【人事課】							
重点課題6 子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	(1) 家庭生活・地域活動における男女の共同責任意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 子育てパパ育成事業「イクメン講習会」の実施 「親になるための教育事業」の実施 男女共創セミナー（父母セミナー）の開催 コラボスクール推進委託事業の実施 	少子化対策プロジェクトチームからの提案を受け、地方創生先行型交付金を活用し、子育て参加促進事業（2事業）の拡充を図った。【地域協働課】コラボスクールは、平成18年度から毎年数校ずつ順次委託し、平成27年度で一巡することができ、世代間の交流ができた。【生涯学習課】	1	延長保育の実施箇所数の受入定員	箇所	6箇所	10箇所	12箇所	8箇所
	(2) 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育、一時保育、乳児保育、障がい児保育の充実 放課後児童クラブの実施箇所の拡大 子育て支援センター事業の充実 子ども医療費助成の充実 「石巻市父子手帖」の作成・配付 	保育事業の充実を図るべく、受入施設を増やし、利用者へのサービスの充実を図った。【子育て支援課】子どもの気持ちや保護者の悩みを理解し、子どもの健全育成支援相談事業の充実を図り、市民サービス向上に努めた。【市民相談センター】母子健康手帳交付時の個別面接や乳幼児健診、育児相談等を通じて、保護者が安心して子供を産み、健やかに育てることができるよう支援した。【健康推進課】			定員	60人	100人	—	80人
				(3) 高齢者や障害者の生活支援及び介護保険事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ひとりぐらし高齢者等緊急通報システム事業 「食」の自立支援事業の実施 高齢者の健康づくり事業の実施 介護予防、認知症予防対策事業の実施 	要介護状態に陥る可能性のある高齢者への介護サービス提供など様々な取り組みを行った。また、介護予防教室に参加された高齢者を対象に、今後は住民主体による自主的活動へ取り組めるよう推進した。【介護保険課】関係団体と連携した高齢者の健康づくりや生活習慣病予防への支援が介護予防に繋がっている。【健康推進課】基幹相談支援センター等の周知が図られ、相談件数が増加し、併せてサービスの利用等へ繋がり、障害者の生活支援が図られた。【障害福祉課】	3	休日保育の実施箇所数の受入定員	箇所	0箇所
	定員	0人	19人						20人	20人
	(4) ひとり親家庭等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭への児童扶養手当の支給及び医療費助成 児童扶養手当や母子・父子家庭医療費助成制度の周知 	制度の周知や給付を通して、自立支援の促進につながった。【子育て支援課】	5	子育て支援センターの数（再掲）	箇所	5箇所	6箇所	10箇所	7箇所
						6	放課後児童クラブの実施箇所と受入定員	箇所	28箇所	33箇所
定員	1,115人	1,620人	1,925人	1,195人						

重点課題	施策の方向	H27年度 主な取組実績	H27年度 取組成果	指標項目	策定時 (H22)	H26	H27	目標値 (H28)
<後期> 最重点課題1 復興施策における緊急対応事項	(1) 震災復興に関するあらゆるレベルの審議の場への女性等の多様な人材の参画推進	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議の委員へ女性登用の配慮を依頼 	石巻防災会議委員の女性割合は6.7%（男性委員56名、女性委員4名）のため、次回委嘱時に女性委員の登用について検討する。【危機対策課】震災復興推進会議及びまち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議については、女性委員の積極的な推薦を関係部署へ依頼した。その結果、震災復興推進会議では、昨年度より女性委員の登用が増加し、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議では、登用率の目標値である40%を達成し、女性委員の登用は半数を超え、取り組み成果が伺えた。【復興政策課】					
	(2) 被災者に対する自立に向けた男女共同参画の視点によるケア・サポートの充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉コーディネーター配置事業の実施 仮設住宅エリア主任配置事業の実施 被災者生活支援調整会議の開催（月1回） いしのまき支援連絡会の開催（月1回） 	復興公営住宅等への入居が進み応急仮設住宅の入居率が低下している中で、支援の内容が全体的な支援から再建方法未定世帯を中心とした個別支援を行う事業へ移行しており、支援対象についても仮設から復興公営住宅へ徐々に移行していることから、入居後のコミュニティ支援について各課で取り組んできた。【生活再建支援課】					
<後期> 最重点課題2 将来を見据えた男女共同参画の取り組み	(1) DVの未然防止、子ども・高齢者虐待の未然防止に関する施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 被災市民等サポート連絡調整会議の開催 児童虐待に関するリーフレットの配布 各種虐待防止講演会の実施 専門カウンセリング事業 傾聴ボランティア活動の実施 	各種虐待対応部署の一元化により、情報の集約及び関係機関との連携の強化が図られた。これにより、各種支援施策を迅速にコーディネートした総合的な対応が可能となり、虐待被害の重症化防止につながった。【虐待防止センター】傾聴ボランティア活動の一環として、人のつながりを学ぶ機会づくりを復興住宅集会所で初めて開催し、傾聴だけでなく、体操や歌を組み合わせながら市民同士が集う良き機会となった。【健康推進課】相談窓口については、一人で悩まず誰かに相談できるよう、市民に向けて自死対策に取り組んでいる現状と相談機関の周知ができた。また、心のケアミーティングについても各関係機関での連携強化につながった。【健康推進課】					
	(2) 女性職員の管理職登用に対する意識の改革	<ul style="list-style-type: none"> 意欲と能力のある女性職員の登用推進 女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の策定（H28.3） 	石巻市特定事業主行動計画（女性活躍の推進）により、多様なポストへ女性を積極的に配置し、管理的地位（ポスト補佐職含む）に占める女性職員割合（19%）を、平成30年度までに22%以上とする。【人事課】					
	(3) 男女共同参画社会の正しい理解の啓発促進	<ul style="list-style-type: none"> 子育てパパ育成事業の実施 市職員啓発研修会の実施 各種セミナーや講演会、研修会の実施 	市職員を対象に「イクメン講習会」や女性の力を仕事に活かすための研修会を実施し、職員個々の意識改革に繋げることができた。【地域協働課】市民及び団体等を対象とした様々な啓発事業を実施し、市民への周知を図り、男女共同参画への理解の促進に努めた。【地域協働課】					